

アニバーサリー獲得

【結婚式】は人生最高のアニバーサリー。このセレモニーを最高の瞬間として提供しているブライダル産業だからこそ、その他のライフアニバーサリーに関しても、卓越したプランニングやオペレーションで素敵なものに作り上げられるはず。結婚式の絶対数が減少している今こそ、アニバーサリー全体に視野を広げていくことが求められているのではないかと。施設稼働率向上というメリットももたらす、各社の取組みをここでは紹介していく。

エスクリが仕掛ける

感謝の言葉伝えるセレモニー

1月22日、エスクリ(本社・東京都港区)が運営するアヴェニールクラス TOKYOにおいて、感謝の言葉を伝える「リプロポーズ」が行われた。

下の子供の1歳の誕生日をお祝いしようと集まったのは、2人の子供と夫婦、夫のお母さん、妻の両親の計7人。夫が仕掛けた、サプライズで感謝の言葉を伝えるセレモニーとは。

チャペルには、夫婦二人の小さな頃から、結婚後の写真が飾られ、それを見つめる参加者の姿。サプライズでウエディングドレスに着替えた妻が感動で涙を流しながら入場。奥さんが祭壇に立つと、夫が目の前に立ち、普段仕事ばかりで家庭のことを一身に対応してくれる奥さんに感謝の手紙を読んだ。12本のバラに願いを込める「ダズンローズセレモニー」で、6本分をプレゼント。

さらに、奥さんのご両親によるセレモニーも。お父さんからお母さんへ、同じように普段言えない感謝の言葉、願いを伝えながら、6本のバラを渡してい

チャペルを使用しダズンローズ夫婦のみならず両親への【リプロポーズ】も

った。次に夫が呼び寄せたのが、自身のお母さん。3年前にお父さんが亡くなっており、1人で参加したお母さんの目の前で、今度は息子から母への感謝の言葉が読み上げられた。息子から贈ったバラは3本。残りの3本は、亡くなった父が母に感謝しているだろう言葉を想像しながら代弁した。

小さな子供から、父母、祖父母に向けての感謝の言葉が贈られ、1人1人の顔写真がついた証明書に全員がサイン。記念写真も撮影された。

セレモニー時間は約30分。その時間に様々な感謝の言葉が贈られ、家族としての絆を確認する。セレモニー後は、併設したレストランにおいて、ランチ会食を楽しんだ。

エスクリが、昨年の11月22日「いい夫婦」の日からスタートした、リプロポーズの実際の光景だ。プロポーズサポートは、それ以前から受注していたが、結婚後の新たなセレモニーとして、レストラン併設の7店舗において展開している。プロポーズ証明書、ダズンローズなどを含めたセレモニーの料金は10万円。オプションで、ウエディングドレスの着用、ムービー撮影、当日のアルバム制作、アニバーサリー記念の特別料理など

にも対応している。

スタート時は、文字通り結婚周年などの機会に、夫から妻へサプライズで感謝の言葉を伝えるセレモニーとして考えていた。ところが、販売をスタートしてみると、様々な相談が寄せられた。問い合わせのうち女性が半数を占めており、「なかなか伝えられないお父さんへの感謝の気持ちを伝えたい」という希望も。

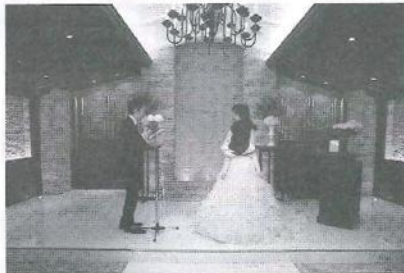
同社では、このセレモニーを、感謝の気持ちを伝える機会として捉え、今後は年間行事などと関連した訴求も進めていく。バレンタインデー、ホワイデー、いい夫婦の日、父の日、母の日、敬老の日、祖父母に気持ちを伝えるといった利用も見込んでいる。年間行事との関連性を高めるために、シーズン毎にキャンペーンも実施していく。リプロポ



▲昨年の11月からスタート

ーズセレモニーの利用促進のためにも、実例をWEBなどで紹介していくことを検討しており、情報掲載に協力してくれる利用者も無料で募っていく。

セレモニーは希望に応じてオリジナル対応になる。事業開発スタッフ及びプランナーが相談に応じていく。これが出来るのも、ブライダルで培ってきたスキルの賜物だ。

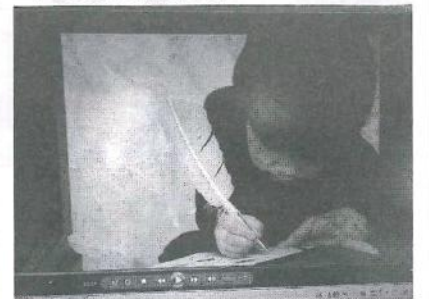


▲セレモニーはチャペルを利用する。この日はチャペル内に夫婦の写真が飾られるなど、装飾もオプションで対応している。ウエディングドレスの着用もできる。

夫から奥さんへの感謝の手紙。普段、なかなか言えない言葉を、【リプロポーズ】のセレモニーを通じて伝えることができる。言葉と共に、ダズンローズも贈る。



▼最後に全員で証明書にサイン。今回のケースでは、家族全員の顔写真付きの証明書を用意した。小さな子供もサインをして家族の絆を深める。



◀夫から奥さんだけでなく、母親に感謝の言葉とバラをプレゼント。夫婦だけでなく、両親や祖父母などへの「ありがとう」を伝えたいという希望が多いのも特徴だ。